

一九八八年七月二十五日  
発行



第71卷 第4号 史学・地理学・考古学

論 説

- 奈良時代の宣……………吉川真司 (1)  
ヴィクトリア時代の労働者と自伝……………佐久間亮 (39)  
メンシェヴィキ党とロシア共産党……………尼川創二 (73)  
上シンド盛期ハラッパー以前の土器……………徐朝龍 (117)

書 評

- 熊野聰著『北吹初期社会の研究』……………服部良久 (148)

紹 介

- 萩野三七彦編著『「大乘院文書」の解題的研究と目録』(小葉田淳)  
京都部落史研究所編『京都の部落史』史料近代編(鈴木栄樹)  
リチャード・J・エヴァンズ編, 望田・若原訳  
『ヴィルヘルム時代のドイツ』(山本秀行)

訃 報

- 本会顧問 中原与茂九郎名誉教授訃

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

がヴィルヘルム時代像をもうひとつ不鮮明

にしている。しかしこうした論点の対立が読者の想像力を刺激するのも思わぬ利点である。さらに本書を読みごたえのあるものになっているのは、各論文がそれぞれ長年の博士研究の成果を背景にしているからであろう。

訳者の一人は、早くからイリーらイギリス若手史家に注目し、『現代歴史叙述の神話』を邦訳し、またイリーの研究とも一部重なる『軍服を着る市民たち』を著わしている。まさに人をえた翻訳といえる。原著の配列が改められ、しかも新たに各部と節に適切なタイトルがつけられたことで、本書は原著より一層首尾一貫したものとなり、内容の理解も容易なものになっている。また原著には欠けていた図版が補われたことと、読みやすい訳文のおかげで、本書は親しみのもてるものに仕上がっている。本書はドイツ近現代史という論争に富んだ、それゆえ魅力的なフィールドへの格好の案内書であるとともに、外国人が外国史を研究することの意味をあらためて考えさせてくれる刺激に満ちた論文集である。

(A五版 二九六頁 一九八八年二月)

晃洋書房 二九〇〇円)

(山本秀行 お茶の水女子大学助教授)

### 日本学術会議だより

— No. 9 —

昭和六三年五月、日本学術会議広報委員会

日本学術会議は、四月二〇日から二二日

まで第一〇四回総会を開催し、「国際間の科学技術協力と研究の自由について(声明)」を決議するとともに、四件の勧告・要望・見解を採択しました。

◇国際間の科学技術協力と研究の自由について(声明)

最近、日米両国政府間で大筋が合意された「日米科学技術協力協定」の改定について、目下伝えられる内容に関しては憂慮すべき点が少なくない。日本学術会議は、さきに「科学者憲章」(声明)、「科学の国際協力についての日本学術会議の見解」を採択し、科学者の責務と学術の国際交流に当たっての基本的な原則を明らかにした。今回の「日米科学技術協力協定」の改定は「安全保障」、「知的所有権」の問題を包含すると伝えられているが、このことによつて科学者の研究・発表の自由・科学者の身

分保障などが実質的に制約される恐れがある。したがって、協定の具体的内容の決定に当たっては、慎重な配慮が必要である。われわれは、「日米科学技術協力協定」の改定に当たって、本会議が明らかにしてきた諸原則の精神を最大限に尊重することを強く要望するものである。

◇太陽地球系エネルギー国際協同研究計画(STEP)の実施について(勧告)

◇「国立地球科学博物館」(仮称)の設立について(勧告)

◇大学等における学術諸分野の研究情報活動の推進について(要望)

◇我が国の国際学術交流の在り方についての日本学術会議の見解

(1) 人的交流の促進と大学・研究機関の国際的開放

(2) 学術研究活動の世界的展開

① 国際的学術機関の活動への積極的参加

② 国際的研究プロジェクトの策定と遂行

(3) ③ 二国間・地域間学術交流国際学術ネットワークの確立

## 会 告

去る五月二十六日に開催された昭和六十三年年度春期定例理事・評議員会において、次の案件が承認可決されました。

一、昭和六十二年年度決算報告及び昭和六十三年年度予算案  
一、役員交替

(1) 理事長藤縄謙三、理事樋口謹一、評議員井上秀雄、伊藤道治、金関恕、廣實源太郎氏の退任。

(2) 理事長に谷川道雄、評議員に飯田収治、佐原眞、谷口規矩雄氏を選任。

(3) 常務理事に金田章裕氏を選任。なお旧理事長藤縄謙三氏は理事に、常務理事山中一郎氏は評議員に復帰。

顧問中原与茂九郎氏は死去されました。

## バックナンバーのお知らせ

『史林』のバックナンバー在庫は次の通りです。お申込は必ず前金で、郵送の場合は送料(各冊五〇円)を添えて下さい。

四七巻一〜六号 四八巻一・三号  
四九巻一・三・五・六号

五一巻一〜六号 五二巻二〜六号

五三巻一〜六号 五四巻一〜五号

五五巻一〜六号 以降七一巻三号まで。

六〇巻までの総目録

頒価は、六七巻二号まで九〇〇円、六七巻三号以降は一〇〇〇円、総目録は一二〇〇円(送料七〇円)です。

## 受贈図書

(一九八六年十一月六日)

一九八八年三月八日

小島修一著 ロシア農業思想史の研究(ミネルヴァ書房)

大下・西川・服部・望田編 西洋の歴史

——近・現代編——(ミネルヴァ書房)

富山県史年表

信州大学人文学部特定研究班研究報告書

老いとその意味

朝鮮社会科学院図書館 조선철학사개요

飛鳥資料館 萬葉の衣食住 図録第一七冊

横田健一先生古稀記念 文化史論叢 上・下(創元社)

村岡・鈴木・川北編 ジェントルマン・その周辺とイギリス近代(ミネルヴァ書房)

函館市史編纂所 函館市史 統計史料編

熊倉一見著 旧下野煉化製造会社について

同 新井製糸所について

同 ホフマン式輪軸

高橋昌明著 湖の国の中世史(平凡社)

茨城県結城郡八千代町 八千代町史通史編

森田寿春編 森田潔研究論文抄録

伊藤毅著 近世大阪成立史論(生活史研究所)

佐伯富著 中国塩政史の研究(法律文化社)

壬申の乱 飛鳥資料館図録一八冊

水本邦彦 近世の村社会と国家(東大出版会)

国士館大学イラク古代文化研究所 メソポ

タミア建築序説

塚田孝著 近世日本身分制の研究(兵庫部

落問題研究所)

読売新聞発展史(読売新聞社)

東敏雄著 勤労農民的経営と国家主義運動

(お茶の水書房)

神立春樹著 産業革命期における地域編成

(お茶の水書房)

阿河準三 栗山文集、同別冊(栗山顕彰会)

朝鮮社会科学院図書館 oucherinhan

同 당사영장

岡光夫著 日本農業技術史—近世から近

代へ—(ミネルヴァ書房)

リチャード・J・エヴァンズ編、望田・若

原訳 ヴィルヘルム時代のドイツ(晃洋

書房)

戸田秀典著 奈良・平安時代の宮都と文化

(吉川弘文館)

足利惲氏著作集 第一巻 イラン学(東海

大学出版会)

歴史手帖(名著出版) 一四—一

神道史研究(神道史学会) 三四—三

産業社会論集(立命館大学) 二二—二、

三

조선어운(朝鮮社会科学院図書館) 一

근로자(朝鮮社会科学院図書館) 九、一

○

奈良女子大学地理学研究報告(奈良女子大

学地理学教室) 二

神道学(出雲大社神道学会) 一三一、一

三二

立命館史学(立命館史学会) 七

福岡大学総合研究所報 八八、八九、九〇、

九一

研究紀要(尾道短期大学) 三五

民族研究(北京民族研究編集部) 四、六

編集後記

第七一巻四号をお届けいたします。私事で恐縮ですが、西洋史の編集委員を二年間務めましたわたくし、南川高志は、本号の責任編集担当をもって委員の任より退き、

根津由喜夫氏と交替いたしましたことになりました。在任中の二年間は西洋史の論説の投稿が比較的多く、今教えてみますと、論説一

五、研究ノート一、書評四、新刊紹介四を編集会議の場で紹介して審査の対象としたことになりました。審査に加わった論説など

の総数はこれの数倍になるでしょうし、また西洋史研究者は一般に持ちあわせていないと思われるような発想や史料操作の方法、

用語法などを他専攻の論文や委員の発言から学ばせていただき、まことに得難い経験

をさせていただいたと思っております。無傷で編集会議を通過する原稿は極めて

少なく、西洋史の論説についても加筆・修正など多々お願いしたことがありましたが、厄介な注文にも執筆者の方々が厭わず、快く応じて下さったことは幸いでした。編集長以下、委員の諸氏にもずいぶん助けていただきましたが、編集活動全般にわたって史学研究会事務局の石田貞子さんの御尽力と心遣いに支えられてきたことを、この後記を書きながら感謝の念をもって思い出す次第です。

前号の後記で担当委員が心配していた投稿の「夏枯れ」状態突入は杞憂に終わりそうですが、今後とも力作をどんどん史林に御投稿下さるよう、心からお願ひ申し上げます。(南川)

一九八八年六月二五日印刷 定価一〇〇〇円  
一九八八年七月一日発行 送料五〇円

史林 第七一巻第四号(通巻第三五〇号)

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部内

発行人 史学研究会

理事長 谷川道雄

京都市下京区七条御所ノ内町五〇

印刷所 中村印刷株式会社

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数御出席下さい。

日 時 昭和六十三年十一月二日(水) 午後一時

場 所 京都大学楽友会館

(市バス近衛通下車東入ル)

公開講演

旧石器時代の「住」

山 中 一 郎

カベイラの水車と淀の水車

末 尾 至 行

史学研究会

# THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. LXXI No. 4

July 1988

---

### CONTENTS

#### Articles :

The *Sen* 宣 of the Nara Period .....S. *Yoshikawa* ( 1 )

The Working Class and Their Autobiographies  
in Victorian England .....R. *Sakuma* ( 39 )

Меньшевистская партия и Российская Коммунистическая  
партия .....C. *Амакава* ( 73 )

The Pottery of the Pre-Mature Harappan  
Period in the Upper Sind .....*Xu Chao Long* (117)

#### Book Review :

S. Kumano, *Early Northern European Society*.....Y. *Hattori* (148)

#### Miscellaneous :

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369